

高畠高生の活躍

4月22日(火)に行ったシングルトンハイスクールの中高生との交流事業の様子が山形新聞に掲載されました。記事には2年生の戸田瑞己さんのコメントが載っています。

交流通じ 日本文化体験

高畠町と友好都市協定を結ぶオーストラリア・シングルトンの中高生32人が22日、同町の高畠高(長岡靖之校長、139人)を訪れ、在校生と交流しながら日本の文化に触れた。

日本の中学、高校に相当するシングルトンハイスクールの生徒たちと教員6人を含む一行は「ジャパンスタディーツア―」として今年11日にオーストラリアを出発。大阪、東京を回り同21日に高畠入りした。この日、高畠高生の歓迎セレモニーを受けたハイスクール

豪の中高生、高畠高を訪問

の生徒たちはグループに分かれ、琴の演奏や書道に挑戦した。書道の教室では「友や」「心」「愛」といった漢字を慣れない筆遣いながらも一生懸命につづる姿が見られた。書き順などを教えた2年戸田瑞己さん(16)は「英単語だけでも何とか伝わる。勉強になった」と笑顔を見せた。

他に授業や部活動を見学し、日本の高校生の日常を身近に感じた。生徒たちは町内26世帯に分かれてホームステイし、25日に帰国する。

(佐々木亨)



書道を体験するシングルトンハイスクールの生徒たち
〓高畠町・高畠高

令和7年4月24日(木)「山形新聞」から